



〔埼玉新聞〕 2017年2月21日 22日付

三芳倉庫火災 5日目 鎮火めど立たず

発生から4日経過しても鎮火のめどが立たず、24時間態勢で消火活動が続けられている事務用品通販アスクルの物流倉庫。周辺住民へ避難勧告も出されている。20日午前11時35分、三芳町（共同通信社へりから）

〔4、17面（記事）〕

三芳倉庫火災

5日経過鎮火できず

町、周辺学校にマスク

三芳町上富の事務用品通販大手「アスクル」（東京都江東区）の物流倉庫火災は21日、丸5日が経過しても鎮火のめどは立っていない。建物の外周部分にはほぼ鎮圧したものの、中央部分は熱気と煙で様子がかためず作業が難航している。一方、三芳町は21日までに、周辺の小中学校3校の全児童生徒にマスクを配布。煙で健康被害を及ぼす恐れがあるとして、外出する際のマスク着用を呼び掛けている。〔4面に関連記事〕

（勝俣眞、関根義浩）



入間東部地区消防組合は21日、建造した建築施工会社、重機4者協議の末、外壁の東面2カ所、西面3カ所の計5カ所を新たに破壊して消火作業を行った。これまでに14カ所を破壊していたが、専門家の意見も取り入れて倒壊の危険性がないかを慎重に判断し、消火作業を続けている。

今後は倉庫内に進入できるかを見極め、可能なら中に入って注水をしていく。柿島勝巳同組合西消防署長は「今のところ建物の崩落の危険は少ない。鎮火の方向に向かっていくが、めどは立っていない」と話した。

町によると、マスクを配布したのは倉庫から東側3キロ。火災が起きた倉庫の東へ報道陣の質問に答える柿島署長「入間東部地区消防組合西消防署長（中略）21日午後4時10分ごろ、三芳町上富（勝俣眞撮影）

圏内の上富小、三芳小、三芳中の3校。20日に3校の全児童生徒分、計1200枚を配布した。21日は予備分として上富小に100枚、三芳小と三芳中に各200枚を配り、登下校時の着用を呼び掛けた。

3校では20日から、休み時間の外遊びや運動場での体育の授業を制限したほか、三芳中は屋外で行う部活動も控えている。町は「煙を吸引しないように心掛け、万一、頭痛や目まい、吐き気などの症状があった場合、すぐに医療機関で診てもらってほしい」と話している。

近所に住む自営業男性（71）は自主避難の勧告があったが、家族で話し合ってから「役所から「マスクをしない」という指示があったが遅い。当事者は分かっていても、見ている人は何が起きているか分からない。爆発があったり、しょつちゅうサイレンがしたり、精神的な不安がある」と語った。